

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業

1. 創設年度：令和4年度

2. 令和6年度予算額：5.5億円

3. 事業概要

地域にとって必要な医療を提供することができる医師を養成するために、都道府県との連携の下、地域枠を活用し、医師養成課程である学部教育の初期段階から、学生が地域にとって必要な医療を志向するための動機づけや、資質能力の養成を図る実習・講義等の教育プログラムの開発・実施、地域医療実習の拡充を行う教育拠点を構築する。

<補助>

4. 選定理由：ア（アウトカムの設定など、EBPM的観点から点検する必要があるもの）

本事業については、都道府県との連携の下、地域枠を活用し学生が地域にとって必要な医療を志向するための動機付けや、資質能力の要旨を図る実習・講義棟の教育プログラムの開発・実施、地域医療実習の拡充を行う教育拠点を構築することを目標としているが、成果指標においてアウトプットはモデル構築大学数、アウトカムは教育プログラムの受講者数、地域枠等入学者の地域医療機関への定着率などとなっており、適切な検証が可能となっているか不明確であることから、これまでの事業成果と今後の事業展開の在り方について、検証する必要があるため。

5. 想定される論点

- ・目的を達成する上で、事業の実施方法が効果的なものとなっているか。
- ・事業成果検証のために適切なアウトカム、アウトプットは設定されているか。

※ 成果指標（令和5年度）

（短期アウトカム）・教育プログラムの受講者数（人）

（長期アウトカム）・地域枠等入学者の地域医療機関への定着率（%）

現状・課題

- 新型コロナウイルス感染症を契機に、医療人に**求められる資質・能力が大きく変化**。
- 高齢化の進展による**医療ニーズの多様化**や**地域医療の維持**の問題が顕在化。
- 高度医療の浸透や地域構造の変化（総合診療医の需要の高まり、難治性疾病の初期診断・緩和ケアの重要性等）**により、従来の医師養成課程では対応できていない領域が発生、**新時代に適応可能な医療人材の養成**が必要。
- ◇社会の変化等により、看護師に求められる能力や看護を提供する場が多様化してきたことにより、**社会的な要請に対応できる看護師の養成が急務**となっている。
- ◇医療技術の進歩に伴い、特別支援学校のみならず、地域の小・中学校等においても医療的ケア児は増加しているが、その支援体制は十分ではない。**医療的ケア児の地域における支援体制構築のためにリーダーシップを発揮する看護師の養成**が求められている。
- ◇改正感染症法の成立を踏まえ、コロナ禍で必要性が顕著となった**重症患者の対応が可能な看護師の養成**が求められている。

事業内容

【医師養成】

医療ニーズを踏まえた地域医療等に関する教育プログラムを構築・実施

- ◆地域ニーズの高い**複数分野（総合診療、救急医療、感染症等）を有機的に結合させ横断的に学ぶことのできる教育**の実施により、地域医療のリーダーとなる**人材の育成**
- ◆**地域医療機関での実習**等を通じて、
 - ①地域の課題を踏まえた教育研究の実現や地域医療への関心を涵養
 - ②専門に閉じない未分化・境界領域への対応力を涵養
- ◆**オンデマンド教材**等の教育コンテンツの開発

社会環境の変化に対応できる資質・能力を備えた医療人材養成のための教育プログラムの開発及び教育・研究拠点の形成

<地域医療の課題やニーズを踏まえた教育>



◆地域医療現場を常に意識した教育・実践

◆地域の病院と大学病院の双方を経験・地域医療の課題を理解

◆オンデマンド教育の充実



<オンデマンド教育の充実>

【看護師養成】

以下の2課題に対応できる看護師を養成するための教育プログラムを開発し、社会的な要請に対応できる看護師の養成を行う

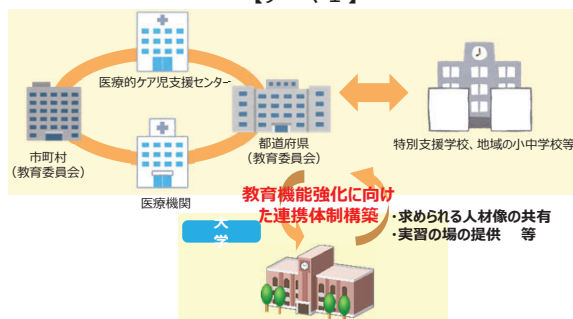
◆テーマ1「医療的ケア児支援における指導的立場等の看護師養成」

看護学部生：**医療的ケア児支援のための実習**等の試行的実施
現役看護師・潜在看護師等（保健師・助産師含む）：医療的ケア児支援における**指導的立場等の看護師養成のためのリスキリング教育プログラムの構築**

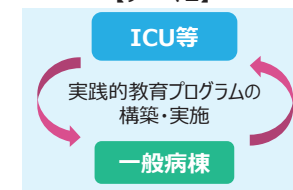
◆テーマ2「重症患者に対応できる看護師養成」

クリティカルケア領域（集中治療・救急部門等）における長期のOJT（On-the-Job Training）を含む**重症患者に対応できる看護師養成のための実践的教育プログラムの構築**

【テーマ1】



【テーマ2】



看護実践能力の向上
医療ひっ迫時における緊急派遣

【支援期間】3年間（令和6年度～8年度）

【単価・件数】10百万円×各1拠点 【交付先】国公立大学

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0173

令和5年度行政事業レビューシート			(文部科学省)					
事業名	ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業		担当部局庁	高等教育局		作成責任者		
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	令和10年度	担当課室	医学教育課	医学教育課長 俵 幸嗣		
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する 計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日閣議決定) 成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定)				
政策	4 個性が輝く高等教育の振興		主要経費	教育振興助成費、その他の事項経費				
施策	4-1 大学等における教育研究の質の向上							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-16.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	大学医学部での養成課程段階から総合診療や救急医療、感染症等の地域ニーズの高い複数の診療科の素養を持つ医療人材を養成するための教育プログラムの開発を支援することにより、地域医療のリーダーとなる人材を育成し、医師偏在の解消を目指す。							
現状・課題 (5行程度以内)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い医療人に求められる資質・能力が大きく変化し、高齢化の進展による医療ニーズの多様化や地域医療の維持の問題が顕在化している。さらに、高度医療の浸透や、地域構造の変化(総合診療医の需要の高まり、難治性疾患の初期診断・緩和ケアの重要性等)により、従来の医師養成課程では対応できていない領域が発生し、新時代に適応可能な医療人材の養成が必要となっている。							
事業概要 (5行程度以内)	地域にとって必要な医療を提供することができる医師を養成するために、都道府県との連携の下、地域枠を活用し、医師養成課程である学部教育の初期段階から、学生が地域にとって必要な医療を志向するための動機づけや、資質能力の養成を図る実習・講義等の教育プログラムの開発・実施、地域医療実習の拡充を行う教育拠点を構築する。							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20220324-mxt_igaku-000021448.00001.pdf							
実施方法	補助							
補助率等	事業を実施する大学に70,000千円を基準に補助 https://www.mext.go.jp/content/20220324-mxt_igaku-000021447.00001.pdf							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	771	619.6	619.6	
		執行額(G)	-	-	770			
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	100%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	100%					
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)	高等教育振興費			※補助金は運減ルールに基づき事業終了前々年度に2/3、前年度に1/3に減額予定。			
	(目)	研究拠点形成費等補助金	619.2	619.2				
		諸謝金	0.2	0.2				
		業務旅費	0.1	0.1				
		委員等旅費	0.1	0.1				
		庁費	0.0	0.0				
		その他	0	0				
	計(A)	619.6	619.6					

活動内容① (アクティビティ)	地域にとって必要な医療を提供することができる医師を養成するために、都道府県との連携の下、地域枠を活用し、医師養成課程である学部教育の初期段階から、学生が地域にとって必要な医療を志向するための動機づけや、資質能力の養成を図る実習・講義等の教育プログラムの開発・実施、地域医療実習の拡充を行う教育拠点を構築する大学を支援する。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	地域にとって必要な医療を提供することができる医師の養成等に係る教育プログラムの開発・実施を行う教育拠点の構築	本事業におけるモデル構築大学数(補助件数)	活動実績	件	-	-	11	-	-
			当初見込み	件	-	-	11	11	11
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業は地域にとって必要な医師を養成するために学生が地域にとって必要な医療を志向するための動機づけや資質能力の養成を図る実習・講義等の教育プログラムの開発・実施、地域医療実習の拡充を行う教育拠点を構築する取組を支援するものであるため、短期アウトカムとして地域医療ニーズを踏まえた教育プログラムの受講者数を設定し、長期アウトカムとして診療科を指定した地域枠等入学者の地域医療機関への定着率を設定した。							
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 10 年度	
	地域医療ニーズを踏まえた教育プログラムの実施	教育プログラムの受講者数	成果実績	人	-	-	4,885	-	
			目標値	人	-	-	3,482	14,771	
達成度			%	-	-	140.3	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業 事業計画書、取組状況調査等								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	本事業は地域にとって必要な医師を養成するために学生が地域にとって必要な医療を志向するための動機づけや資質能力の養成を図る実習・講義等の教育プログラムの開発・実施、地域医療実習の拡充を行う教育拠点を構築する取組を支援するものであるため、短期アウトカムとして地域医療ニーズを踏まえた教育プログラムの受講者数を設定し、長期アウトカムとして診療科を指定した地域枠等入学者の地域医療機関への定着率を設定した。							
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 10 年度	
	地域のニーズに対応する医療人の増加	地域枠等入学者の地域医療機関への定着率	成果実績	%	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	100	
達成度			%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業 事業計画書、取組状況調査等								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	-								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められて いる関連決定等	名称	-							
	URL	-							
	該当箇所	-							

事業所管部局による点検・改善												
点検結果	本事業は「経済財政運営と改革の基本方針2021(令和3年6月18日閣議決定)」や「成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定)」等に盛り込まれた政策を実現するものとして、計画的かつ確実に人材の育成や地域医療実習の拡充を行う教育拠点を構築する観点から、国が財政支援を行いながら強力に推進する必要がある。支出先の選定に当たっては、公募を実施し、第三者委員会で選定することにより、その妥当性や競争性が確保されることになっている。										目標年度における効果測定に関する評価(令和11年度実施)	
	改善の方向性											
外部有識者の所見												
・成果指標について、「教育プログラムの受講者数」を設定する際には、受講者数(水準)に加えて、教育プログラム・コースの定員充足率等、当初の受講者数見込みとどの程度乖離若しくは超過しているかを評価できる指標の設定も必要ではないか。												
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見												
事業内容の一部改善	外部有識者の所見を踏まえ、成果指標について「教育プログラムの受講者数」だけでなく、当初の受講者数見込みとの差について評価できる指標なども検討すべきである。また短期アウトカムの目標年度が事業終了年度となっているため、事業途中の成果として確認できるよう設定年度等について検討すべきである。											
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況												
年度内に改善を検討	成果をより的確に把握するため、成果指標について、成果指標の見直しの検討を実施する。											
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ											
	上記への対応状況											
	その他の指摘事項											
	上記への対応状況											
	備考											
	関連する過去のレビューシートの事業番号											
平成23年度												
平成24年度												
平成25年度												
平成26年度												
平成27年度												
平成28年度												
平成29年度												
平成30年度												
令和元年度												
令和2年度												
令和3年度	2021	文科	新22	0011								
令和4年度	2022	文科	新22	0007								

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
(771.0百万円)

謝金:0.5百万円
委員等旅費:0.1百万円
庁費:0.1百万円 を含む

対象大学から申請のあった事業内容を審査の上、支援対象とする取組を選定し、補助金を交付する。

【補助金等交付】

A.大学(全11大学)
(770.0百万円)

各大学が連携地域医療に従事しようとする意志を持つ学生を選抜する入学定員枠を用いて、地域にとって必要な医療を提供することができる医師の養成に係る教育プログラムの開発・実施を行う教育拠点を構築し、医師の地域偏在・診療科偏在に対応する人材を育成する。

【分担金】

B.連携大学(全15大学)

申請担当大学と相互に連携し、地域のニーズに対応する医療人材を養成する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
物品費	設備備品費・消耗品費		41.3	物品費	設備備品費・消耗品費等	29.3
人件費・謝金	事務補佐員雇用経費等		13.1	人件費・謝金	人件費・謝金	6.6
その他	外注費・印刷製本費・諸経費等		12.4	その他	外注費・諸経費等	2.9
分担金	連携1大学への分担金		11.7	旅費	国内旅費	0.5
旅費	国内旅費		0.2			
計			78.6	計		39.3

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人千葉大学	2040005001905	地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラム	78.6	補助金等交付	-	-	
2	国立大学法人筑波大学	5050005005266	地域医療の多様なニーズにシームレスに対応できるオールラウンダーの養成	78.6	補助金等交付	-	-	
3	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	医療人類学とバーチャル教育を活用した屋根瓦式地域医療教育(濃尾+A)	78.6	補助金等交付	-	-	
4	国立大学法人富山大学	4230005003054	臨床医学と社会医学を駆使して地域を守る医療人の養成	78.6	補助金等交付	-	-	
5	国立大学法人琉球大学	6360005001332	島医者・山医者・里医者育成プロジェクト(ER型救急・総合診療に対応できる医師育成)	78.6	補助金等交付	-	-	
6	国立大学法人岡山大学	2260005002575	多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の構築	78.6	補助金等交付	-	-	
7	国立大学法人長崎大学	3310005001777	次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト～地域とくらしを支える医療人の育成～	78	補助金等交付	-	-	
8	国立大学法人宮崎大学	1350005001593	地方と都市の地域特性を補完して地域特と運動しながら協働する医師養成モデル事業～KANESHIROプログラム:病気を診ずして病人を診よ～	77.2	補助金等交付	-	-	
9	学校法人埼玉医科大学	3030005011020	埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成	60.7	補助金等交付	-	-	
10	国立大学法人高知大学	7490005001707	黒潮医療人養成プロジェクト	42	補助金等交付	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人新潟大学	3110005001789	臨床医学と社会医学を駆使して地域を守る医療人の養成	39	その他	-	-	
2	国立大学法人熊本大学	2330005002106	次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト～地域とくらしを支える医療人の育成～	30	その他	-	-	
3	国立大学法人東京医科歯科大学	6010005007397	地域医療の多様なニーズにシームレスに対応できるオールラウンダーの養成	22	その他	-	-	
4	国立大学法人鳥取大学	4270005002614	多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の構築	18	その他	-	-	
5	国立大学法人島根大学	4280005002142	多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の構築	18	その他	-	-	
6	国立大学法人香川大学	7470005001659	多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の構築	18	その他	-	-	
7	国立大学法人鹿児島大学	6340005001879	次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト～地域とくらしを支える医療人の育成～	14	その他	-	-	
8	学校法人慈恵大学	9010405001658	地方と都市の地域特性を補完して地域特と運動しながら協働する医師養成モデル事業～KANESHIROプログラム:病気を診ずして病人を診よ～	13	その他	-	-	
9	学校法人東邦大学	4010805000735	地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラム	12	その他	-	-	
10	国立大学法人佐賀大学	1300005002712	島医者・山医者・里医者育成プロジェクト(ER型救急・総合診療に対応できる医師育成)	11	その他	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

現状と課題

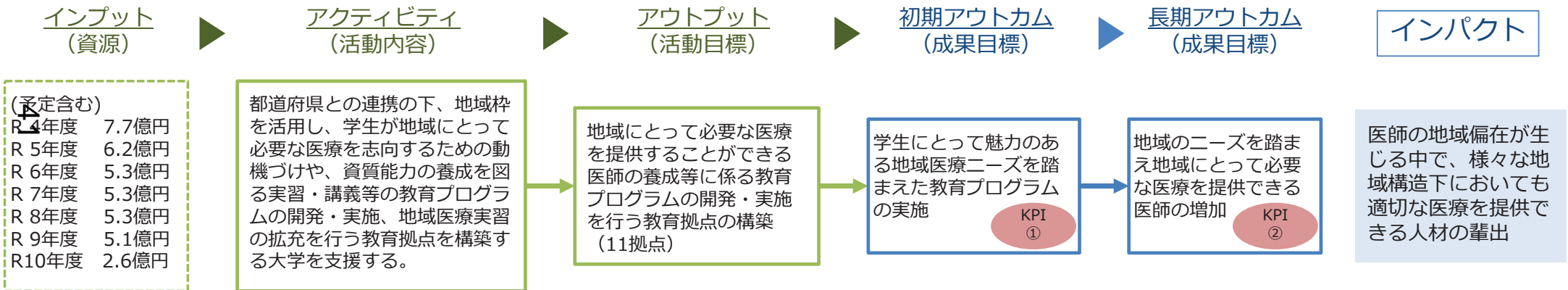
- ・厚労省の医師需給調査によると、医師の働き方改革を進める中で医師数が増加しても、2029年頃には医師の供給は過剰になるとの予測がある。
- ・一方、地域にとって必要な医療を提供し続けるためには、医師偏在（地域・診療科等）を解消することが必要。
- ・医師偏在対策をさらに推し進めるために、地域に必要な診療科に対応できる医師を養成する、一貫したキャリア支援体制の構築が必要。

本事業の内容

- ◆地域ニーズの高い複数分野（総合診療、救急医療、感染症等）を有機的に結合させ横断的に学ぶことのできる教育の実施
- ◆地域医療機関での実習等を通じて、地域医療への関心や対応力を涵養
- ◆オンデマンド教材等の教育コンテンツの開発

(現状・課題を示すデータ)

- ・日本の医学部卒業者は毎年約9千人
- ・日本の全医師に占める感染症内科、総合診療科、救急科の割合は、合計しても1.5%程度



測定指標 (目標値)



・地域医療ニーズを踏まえた教育プログラムの受講者数 (R10年度までに14,771人)



・本教育プログラムを受講し、地域で必要とされる診療科医師として定着する割合 (R7年度卒業生から100%)

ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業[医師養成]選定結果一覧

申請件数：18件、選定件数：11件

No	区分	代表校名	連携校名	事業名	主な教育プログラム・診療科
1	国	弘前大学	秋田大学	多職種連携とDX技術で融合した北東北が創出する地域医療教育コモンズ	総合診療、感染症、救急、集中治療
2	国	筑波大学	東京医科歯科大学	地域医療の多様なニーズにシームレスに対応できるオールラウンダーの養成	①地域医療、②総合診療、③緩和医療、④感染症、⑤難病・慢性診療、⑥救急医療
3	国	千葉大学	東邦大学	地域医療への高い情熱と好奇心を涵養して総合力・適応力・教育力を醸成する地域志向型医療人材養成プログラム	総合診療、救急・災害医療、感染症
4	国	富山大学	新潟大学	臨床医学と社会医学を駆使して地域を守る医療人の養成	感染症・社会医学、救急・災害医療
5	国	名古屋大学	岐阜大学	医療人類学とバーチャル教育を活用した屋根瓦式地域医療教育（濃尾+A）	総合診療、救急、感染症
6	国	岡山大学	島根大学、香川大学、鳥取大学	多様な山・里・海を巡り個別最適に学ぶ「多地域共創型」医学教育拠点の構築	救急・災害、総合診療、感染症、公衆衛生
7	国	高知大学	三重大学、和歌山県立医科大学	黒潮医療人養成プロジェクト	救急（災害医療を含む）、感染症、在宅医療、遠隔医療、公衆衛生
8	国	長崎大学	熊本大学、鹿児島大学	次世代型教育で創る連携教育拠点構築プロジェクト～地域とくらしを支える医療人の育成～	感染症、総合診療、地域包括ケア、救急・災害医療、離島・へき地医療
9	国	宮崎大学	東京慈恵会医科大学	地方と都市の地域特性を補完して地域枠と連動しながら拡がる医師養成モデル事業～KANEHIROプログラム：病気を診ずして病人を診よ～	地域医療、救急医療、総合診療、感染症
10	国	琉球大学	佐賀大学	島医者・山医者・里医者育成プロジェクト（ER型救急・総合診療に対応できる医師育成）	救急、総合診療
11	私	埼玉医科大学	群馬大学	埼玉・群馬の健康と医療を支える未来医療人の育成	がん医療、難病医療、遺伝医療、感染症、総合診療、プライマリケア